

実践をPDCAサイクルで



平成25年11月27日(水)、東山地域交流センターにおいて、午前中は教務主任研修会を、午後は復興教育担当者研修会を行いました。どちらの研修会も、前半が講義、後半が各校の実践交流と協議を行いました。Plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Action(改善)サイクルで自校の実践を進めていくことが確認されました。

教務主任研修会

(1) 講義「H26 教育課程編成の留意点」

県南教育事務所 主任指導主事 佐藤 利康

- 学力調査を生かした指導のポイント
授業 → 板書・ノートの工夫とわかる授業の観点からの教師相互の声かけ
家庭学習 → 年間を通じた継続的取組
学力調査 → 全職員で解いてみる時間の設定

○道徳教育の推進に関する調査

全体計画における別葉、県版道徳資料集のよさを紹介しました。また、調査内容を基に、各校の道徳教育のさらなる推進について確認しました。

(2) 協議「学力向上に向けた効果的な取組の在り方」

グループ内で、学力向上に向けた取組について話し合いを深めました。学力向上の鍵として、下記の3点が確認されました。

- 授業改善
- 授業と家庭学習の連動
- 教師による活用問題の作成



復興担当者研修会

(1) 講義「復興教育に取り組む体制の整備」

県南教育事務所 指導主事 佐々木 晋

- 先生方に配布された「いわての復興教育プログラム(改訂版)」を、すぐに開いて見ることが出来る場所に置き、活用することを確認しました。
- 組織的・計画的・継続的な取組が必要
- 学校経営・教育課程への位置づけが大切
- PDCA(CAPD)サイクルで実施

(2) 講義「復興教育副読本の活用に向けて」

学校教育室 主任指導主事兼特命課長 松葉 寛

学校教育室 主任指導主事 齊藤 義宏

復興教育プログラムを作成した方々からの講義であり、復興教育は岩手の最重要課題であるという強い思いのこめられた講義でした。

復興教育副読本は今年度3月に完成する予定であり、来年度は周知の期間になります。

(3) 実践発表会「各校の復興教育の取組」

どちらの学校も、学校が一丸となって取り組むことで、子どもたちを大きく育てています。

☆一関市立室根西小学校 松本 良子 教諭

3年間の取組を発表していただきました。被災者を運動会に招待したり、復興劇を演じたりすることで、前向きに生きる大切さを感動と共に伝えていただきました。

☆奥州市立東水沢中学校 盛島 浩子 教諭

「絆」の心を育てることを目標に、復興教育を学校経営の重点の一つとして取り組んでいます。生徒会、部活動、委員会の組織を有効に生かした取組を推進していただきました。

(4) 協議「各校における復興教育の取組」

各校の実践成果や課題について情報交流し、復興教育を学校全体で進めるうえでのポイントを話し合いました。発表から、

- 復興教育の取組を全職員で共通理解
 - 復興教育年間指導計画の作成と実施の確認
 - 復興教育掲示コーナーの設置
- などがあげられました。今しかできない活動と、続けていく活動に分けて考え、取り組んでいく必要があることが確認されました。